

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 常友 永市 (課長補佐兼地域整備係長 鈴木 敏亮)	内線	3931 (3946)
------	---------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	山村振興	事業名	事業区間	総事業費	約8億円
		新山村振興等農林漁業特別対策事業	加美地区	内用地補償費	-
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
多可郡加美町加美地区			H17	H17	H20

事業目的	事業内容
<p>山村等中山間地域の振興を図るため、地域の特性を活かした農林水産業の振興、都市との交流の促進、生活環境の向上、高齢者女性対策を推進する。</p> <p style="text-align: center;">事業主体：加美町</p> <p>地域指定：振興山村（一部）、特定農山村</p>	<p>1 地域資源活用総合交流施設 ラベンダー園5ha、 育苗・加工・販売施設1棟511m² (国50%、県2%、町48%)</p> <p>2 農林水産物直売・食材供給施設 うどん・茶加工販売施設：1棟150m² (国50%、県7%、町43%)</p> <p>3 滞在型市民農園 簡易宿泊棟10棟延400m² (国50%、県4%、町46%)</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>加美町では自然に恵まれた資源を生かし、村の名物・自慢づくり運動による、住民が自ら考え、行動する地域づくり、都市と農山村の交流の舞台づくりを展開する「心なごむ共生と交流の町づくり」として活性化に取り組んでいる。</p> <p>このため、都市農村交流の一層の促進 地域資源を活用した新しい産業の創出と雇用の場の確保 地域農産物の生産拡大や付加価値の向上等により、さらなる地域の魅力を高め、多自然居住のまちづくりを推進する。</p>
(2)有効性・効率性	<p>事業実施により下記の効果が期待できる。</p> <p style="padding-left: 20px;">施設整備による雇用の創出(14人の新規雇用)</p> <p style="padding-left: 20px;">収益の増加(55,100千円の増収)</p> <p style="padding-left: 20px;">費用対効果B/C=1.37</p> <p>・用地の提供、施設の維持管理等、地元の事業実施体制も整っている。</p>
(3)環境適合性	<p>施設の整備にあたっては、加美町産木材を使用し、地域森林資源の有効活用を図る。</p>
(4)優先性	<p>ラベンダー園は、加美町で進めている大河丘陵活用計画の中で中核となる施設で県道氷上加美線と一体的に整備して、全線開通(H23)までの開園を計画する。</p> <p>農産物処理加工施設は、町内産小麦や茶を、名水「松か井の水」を利用して高付加価値な加工販売を行うことで地域の収益率をアップするとともに、地産地消を推進する。</p> <p>滞在型市民農園は、全国棚田百選「岩座神の棚田」という立地条件から、利用希望者が多く、ニーズに応えるため既存の施設に隣接して増設する。</p>